



ロータリーに活力を— あなたの活力を PUT LIFE INTO ROTARY- YOUR LIFE

1988～89年度 国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ロイス・アビー ●第256地区ガバナー 檜内悌三郎
- 会長—杉野 奎司 ●副会長—小林 英雄 ●幹事—長谷川有美
- SAA—榎本 勝、近藤 雄介 ●例会日—毎週水曜日 12:30～
- 例会場—三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局—三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替ります)

- クラブ会報委員—伊藤 廣一、大谷 幸平、五十嵐昭一、松谷 昊吉

| | |
|-----------|---|
| 出席会員数 | 会員 68名中 54名 |
| 先々週出席率 | 90.91% (前年同期 88.52%) |
| 今日のお花 | バラ |
| ヴィジター | 燕より 五十嵐荘一君 三条南より 若林幸哉君、田中康雄君、馬場茂夫君 三条北より 中條耕二君、本間建雄美君 |
| 先週のメイクアップ | 10/20 見附へ 濱 潔君 10/23 十日町北20周年へ 杉野奎司君、小林英雄君、 長谷川有美君、平原信行君 10/24 三条南へ 古沢富雄君、松谷昊吉君、五十嵐晋三君、 五十嵐昭一君、高森昭光君、滝沢富雄君、 10/25 三条北へ 石橋育於君、伊藤廣一君、藤村義彦君、 堀川政雄君、大谷幸平君、日戸平太君 |

会長挨拶 杉野会長

お客様をお迎えしております。ようこそお出で下さいました、心から歓迎を申し上げます。

十日町市の北クラブの20周年記念式典が23日に行われました。来賓として藤田さん、当

クラブから私と幹事、小林さん、平原さんと出席して参りました。

今晚6時より松木屋さんにて歴代会長会議を開催致します。御出席をお願い申し上げます。議題は次々年々度の会長の選考とクラブの運営についてでございます。

今日から全国より雪の関係で1カ月早く、火災予防週間です。「その火、その時、すぐ始末」がテーマです。

昨年は県内に1,018件の火災発生がありました。三条市は37件、死者は当市では1名、県内で34名、全国1,857名、全国的に死者の増加の傾向にあります。

火の用心の意識の高揚が肝要です。以上で挨拶を終わります。

幹事報告 長谷川幹事

○いからしの里より 作品展示即売会開催のご案内がとどいております。

とき 11月3日(木)～11月6日(日) AM10:00～

ところ 長崎屋 三条店3階

○前原勝樹パストガバナー(桐生RC)より

1989年用ロータリー名言カレンダー 1部 1,500円のご案内

○ロータリーの友事務所より

1989年用ロータリーダイアリー(卓上用) 1部 1,000円

1989年用ロータリーカレンダー(壁掛用) 1部 500円

}のご案内

ユニークで独得な健康法「健康ひとくちめも」寄稿のお願い。

○新潟東ロータリークラブより 30周年記念誌が届いております。

○三条北ロータリークラブより

JR燕三条駅頭における例会案内板書き換え協力のお礼状が届いております。

○赤十字血液センターより 広報誌「輪」10月号が届いております。

○例会変更のお知らせ

三条北RC 11月15日(火)→PM6:30～吉田RCとの合同例会のため

於VIP玉姫殿

委員会報告

◎ロータリー財団 — 新会員が三名増えました。1名500円 計1,500円財団の方へお願い
します。

ニコニコボックス ¥16,000

齋藤(弘)君 三条燕地域工業技術展の成功を祝って。

平原(信)君 十日町北ロータリークラブ20周年に参加させていただき、長谷川幹事の
車にのせていただきましたので。

丸山君 連続出張でホームクラブ出席出来ませんでした。又、今日も緊急出張となり、早退させていただきます。お詫びします。

野村君 去る21日、リージョンプラザ上越で第35回新潟県更生保護研修大会で関東保護司連盟会長の表彰状を受けました。

中條耕二君(三条北クラブ)

23年間三条クラブにお世話になった北クラブの中條です。この度、母の急逝に際し、三条ロータリークラブ杉野会長始め、初代金子会長様、多数のご会葬賜わり誠に有難うございました。生前よく「昔三条クラブ楽しいクリスマスパーティーにも出席させていただいて、うれしかった」と母は云っていました。

卓話

五十嵐 力会員

今年6月に入会した新人です。

昭和10年9月25日生れ53歳1カ月となりました。

私は三条市島田に生まれ、三条第一中学校26年卒業と同時に家業の五十嵐製作所で働きながら、三条実業高校定時制(機械科)入学、4年間通学しました。その間、3日間休みましたが毎年精勤賞を頂きました。

当時入学者が多く120人位試験を受けましたが、機械科60人で(商業科45人位)4年後卒業した人は38人となりました。

私は学校は休まなかったが、眠くて先生の話聞く事が大変でしたが、先生も承知したもので、学校に来る事だけで良いと言われ、その気になったものです。

私の父は昭和15年にプライヤの製造を始めたが、当時1日40～50丁の製品がなかなか売られなくて苦労したそうです。

三条の間屋さんがプライヤはどんな所で使うのかと言うくらい、知らない商品であったのです。

終戦後の資材不足と不況で、プライヤ以外の製品(スコヤ、時計ハンマー、喰切等)を作りましたが、経済の発展と共に自動車、オートバイの搭載工具として、プライヤの注文が入るようになりました。

最初受けた価格が87円でしたが、毎年値下がり10年後47円まで下がりました。その時すでに赤字となっており、前金を貰わないとやって行けない状態でした。





その後、43円に値下げ要求があった時、当時95%位占めていた搭載工具を止めたのです。昭和33年に輸出検査法ができた時、輸出向として、研磨、メッキなど品質を良くして、見本を作り、貿易商社に紹介した処、一流商社から大量注文が決り、全生産を輸出に向けたのです。

商社から見ると非常に安かったものと思われれます。なぜなら、搭載工具で血の出るようなコストダウンを実施して来た為であり、今でも、自動車産業に感謝しております。

良い時期は長くは続きません。昭和46年のドルショックで仕掛品、注残も含めて20%の値引を要求され、赤字覚悟で受けながら、これからは高品質な製品でなければならないと考え、社員教育に力を入れ、日本工業規格（JIS）を取り、アメリカ連邦調達局（日本の防衛庁）の入札で多量の注文が決まったのです。

これもその後の狂乱物価で大幅にコストが上ったが、2年契約のため、値上げが出来ず、大変な赤字になった。

運と言うものは、正面から搦めと言われるが、運良く国内の一流メーカーから注文が入り、国内向にと販売を増やし、輸出比率を落して行ったのです。

58年見附市に工場を全面移転し、自動化機械を導入して軌道に乗り掛った処に、大変な円高となった。80%前後の輸出比率のため、このままでは倒産必至である。

この状態を切りぬけるため、金利の大幅引下げ依頼、仕入、協力工場に値引要請、人員の削減と生産性の向上に努めた結果、今年に入り、輸出価格の引上げ、国内景気回復で、累積赤字の一掃と、そこそこの利益を計上する事が出来ました。

今まで運よく乗り切ってきたが、今後益々厳しい環境となる事が予想されるため、今のうちに対策を考えております。



次 週 例 会 11月2日 卓話 小柳恵司会員

次々週例会 11月9日 夫人同伴親睦例会
